

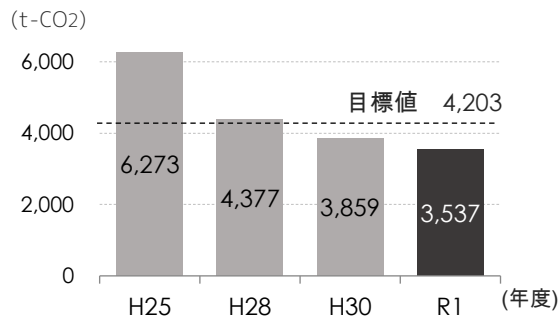
## 令和元年度 山都町の事務事業活動に係る温室効果ガス排出量

山都町では、温室効果ガス排出削減に取り組むべく、山都町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）を平成 29 年度に策定しました。

本計画では、町の事務事業活動に伴う温室効果ガス排出量を、令和 4 年度において平成 25 年度比で 40% 減少させることを目標にしています。

### ■ 温室効果ガス総排出量の推移

令和元年度の事務事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は、二酸化炭素換算で約 3,537 t-CO<sub>2</sub> でした。基準年度である平成 25 年度と比較して約 44%、平成 28 年度と比較して約 19% 減少しました。



[ 山都町温室効果ガス排出量の推移 ]

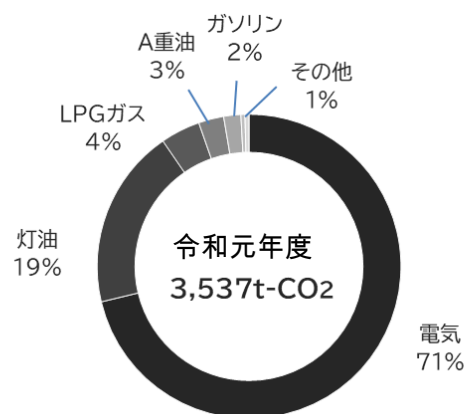
減少の主な要因としては、設備機器の高効率化によるエネルギー使用量減、再生可能エネルギーの普及に伴った電力排出係数の減少などが考えられます。

すでに令和 4 年度の目標値を達成していますが、今後も目標値達成を維持できるように、環境配慮の取り組み等を推進していきます。

### ■ 令和元年度 温室効果ガス総排出量に占めるエネルギー種別の割合

令和元年度の温室効果ガス排出量は、エネルギー種別にみると電気・灯油が全体の 9 割を占め、なかでも電気は全体の 7 割以上を占めています。電気使用量に占める割合の高い空調・照明機器の省エネを推進することにより、より大きな削減効果が見込まれると考えられます。

その他 1% の内訳にはガソリン（公用車以外）、軽油（公用車）が含まれます。



## 山都町カーボン・マネジメント強化事業 事業概要

目的	本町では、平成 29 年度に策定した「山都町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、町有施設の省エネ推進に積極的に取り組むこととしている。その一環として、削減効果が高いと見込まれる 2 施設の照明・空調システムを見直し、省エネ設備の導入による効率改善及び運用改善を行うことで、温室効果ガス排出量のさらなる削減を図る。
期間	令和元年度から令和 2 年度（2 か年）
対象施設	山都町役場清和支所、蘇陽総合行政センター
内容	2 施設の問題点として、老朽化とともに、設備機器が施設の使用頻度にそぐわなくなったことによる無駄なエネルギー消費が考えられる。本事業では、電力使用量の把握、使用頻度に応じた適切な省エネルギー設備の導入及び運転の制御をおこなう。
効果	高効率な空調設備及び照明設備の導入、運用・効率改善を図ることにより、温室効果ガス排出量の大幅な削減が期待できる。また、本事業をその他の町有施設及び建て替え・統合が予定される建築物への設備更新に反映することにより、町全体の温室効果ガス排出量削減対策に寄与することができる。
温室効果ガス 排出量削減見込 （2 施設計）	2017 年度 358.36 t -CO <sub>2</sub> 2020 年度 259.25 t -CO <sub>2</sub> （△99.1t-CO <sub>2</sub> 見込み）

<b>■ 設備更新事例 1. 清和支所</b>	
所在地	熊本県上益城郡山都町大平 385
竣工年月	平成 14 年
建物構造	鉄骨造・一部鉄筋コンクリート二階建瓦葺
施設写真	
令和 2 年度の 主な導入設備等	<p><b>【導入設備等】</b></p> <p>①照明設備の高効率化 既設の従来型蛍光灯 31 台、ダウンライト 89 台、誘導灯 48 台を LED 化</p> <p>②照明設備の電力使用量把握</p> <p>③運用改善 不使用時の消灯の徹底等</p> <p><b>【予想される効果】</b></p> <p>年間温室効果ガス排出削減量：10.2 t -CO<sub>2</sub> 削減率：72%</p>

<b>■ 設備更新事例 2. 蘇陽総合行政センター</b>	
所在地	熊本県上益城郡山都町今 500
竣工年月	平成 10 年
建物構造	コンクリート二階建
施設写真	
令和 2 年度の 主な導入設備等	<p><b>【導入設備等】</b></p> <p>①照明設備の高効率化及び運用改善 既設の従来型蛍光灯 823 台、ダウンライト 250 台、 非常灯・誘導灯 143 台を LED 化</p> <p>②照明設備の電力使用量把握</p> <p>③運用改善 不使用時の消灯の徹底等</p> <p><b>【予想される効果】</b></p> <p>年間温室効果ガス排出削減量：38.6 t -CO<sub>2</sub> 削減率：81%</p>